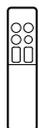
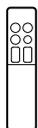


バケットタイプ



ヴィンテージタイプ



- 品番 **LGBZ6180** (バケットタイプ / ブラック)
LGBZ6181 (バケットタイプ / ホワイト)
LGBZ6182 (バケットタイプ / グレー)
LGBZ6185 (ヴィンテージタイプ / ブラック)
LGBZ6186 (ヴィンテージタイプ / ホワイト)



お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
 ご使用前に「安全上のご注意」(表紙～2ページ)を必ずお読みください。
 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

■この説明書は必ずお客様にお渡しください。
 ■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

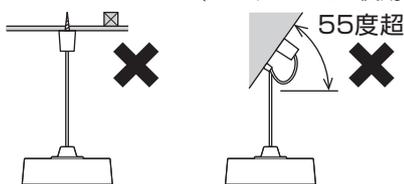
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

■取付面

●次のような場所には取り付けない
 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- ・補強のない場所
(ベニヤ板や石こうボードなど)
- ・55度を超える傾斜した場所
(コードハンガー使用時)



●コードハンガーを使用しない場合傾斜天井不可。

◎この器具は天井面吊り下げ専用です。

■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
 火災のおそれがあります。



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
 (取り外しには資格が必要です。)

■配線器具

●次のような配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けない
 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

- ・がたついたり、破損しているもの
- ・斜めに取り付けられたもの



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
 (交換には資格が必要です。)

■その他

●交流100ボルトで使用する
 過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。



●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
 異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

●コードハンガーは確実に取り付ける
 落下してけがのおそれがあります。



●器具を改造したり、部品交換をしない
 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠ 注意



必ず守る

- 付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- 照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
- ◎ 1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき自主点検してください。
- お手入れの際は電源を切る
通電状態で行うと感電の原因となることがあります。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
- ◎ この器具は防湿、防雨型ではありません。



接触禁止



禁止

- 点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
- ◎ お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。
- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
- ◎ 器具の真下にストーブなどを置かないでください。
- 点灯したLEDを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。
- アルカリ系洗剤は使用しない
強度低下により破損し、感電、落下してけがの原因となることがあります。
- 本体の乳白カバーが破損した状態で使用しない
内部部品に触れると、感電の原因となることがあります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

- 器具の取り付けかたについては ☞ 『各部のなまえと付属部品』、『照明器具を取り付ける』 3~5ページ参照
・取り付け後、初めて壁スイッチをONすると常夜灯点灯(出荷時設定)となります。
- 使いかたについては ☞ 『リモコンであかりを切り替える』、『器具のチャンネル設定を変更する』
『リモコンで複数の器具を操作する』、『壁スイッチであかりを切り替える』 6ページ参照
- 点灯動作に異常を感じた場合は ☞ 『故障かな?と思ったら』 7ページ参照
- お手入れ、仕様(品番、定格など)は ☞ 7ページ~裏表紙参照

【器具自体の留意点】

- 必ず壁スイッチを設けてください。
・長期使用しないときや、お手入れの際に電源を切ることができます。
- ・点灯に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
- ・リモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができます。
- ・壁スイッチのOFF→ON操作で点灯状態を切り替えることができます。
- リモコンで消灯した場合は待機時電力を消費しています。
- 取り付け後、振動などにより本体が回転することがあります。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 短時間の停電時、消灯状態から点灯したり、点灯状態が勝手に切り替わることがあります。
- LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお取り替えはできません。

【音響機器、情報機器の影響】

- 器具の近くではラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 3Dテレビ用メガネ、ビデオカメラのモニター、録画などの画像にちらつき、縞模様が発生することがあります。
- 他の機器(例えば、スマートフォン・タブレット、3Dテレビなど)から出る赤外線の影響により、リモコンが反応しにくい場合があります。

【リモコンの乾電池について】

- リモコンの乾電池は半年を目安に交換してください。ただし、付属の乾電池は器具取付時の動作確認用のため、早く消耗する場合があります。

【壁スイッチ1回路で複数灯使用する場合】

- 指定の壁スイッチ1回路に器具8台まで接続可能です。
・壁スイッチの操作で消灯前の点灯状態で点灯できます。
- ・同一のリモコンのチャンネルに設定ください。☞ 6ページ「リモコンで複数の器具を操作する」参照
- ・壁スイッチを素早くOFF→ONして点灯状態を切り替えたときや停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生したときに、一部の器具の点灯状態がずれる場合があります。その場合は、リモコンで点灯状態を調整ください。
- ・リモコン操作で離れた器具の点灯状態が切り替わらない場合は器具に近づいて操作ください。

適合壁スイッチ: 埋込スイッチB(片切) WT5001、埋込スイッチC(3路) WT5002、埋込ほたるスイッチB(片切) WT50519/ WTA5051、埋込ほたるスイッチC(3路) WT50529/ WTA5052 (別売)

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

確認

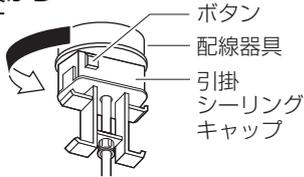
- ◎必ず壁スイッチを設けてください。
☞2ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照
- 取り付け前に、表紙、2ページの「安全上のご注意」、「ご使用上に関するお知らせ」をご確認ください。
- ◎配線器具・スイッチの取り替え、取り付けが必要な場合は、販売店、工事店にご依頼ください。
(工事には資格が必要)

取り付けできる配線器具 (下記以外には取り付けできません)

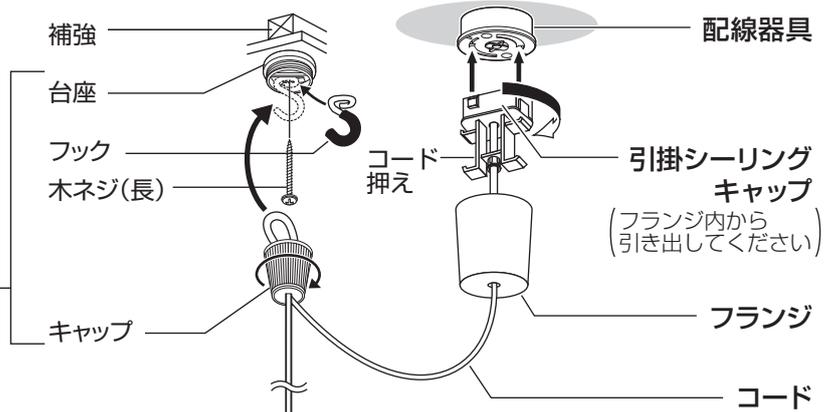
丸型フル引掛シーリング	角型引掛シーリング	フル引掛ローゼット	丸型引掛シーリング	引掛埋込ローゼット	引掛埋込ローゼット (ハンガーなし)
WG5005 WG5015	WG1000	WG6005	WG4000 WG4420 WG4425 WG1500	WG6000 WG6420 WG6130	WG6001WK

取り付け前のご準備

- ・ボタンを押しながら引掛シーリングキャップを左に回し、配線器具から取り外す



・セードの形状は品番により異なります。

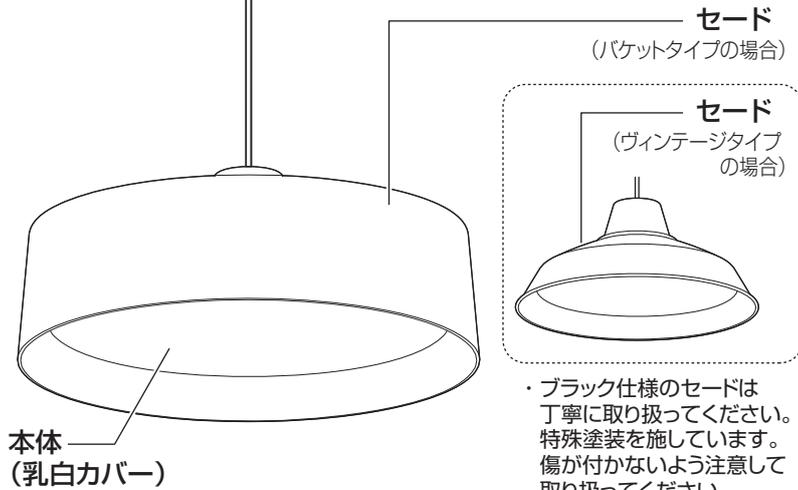
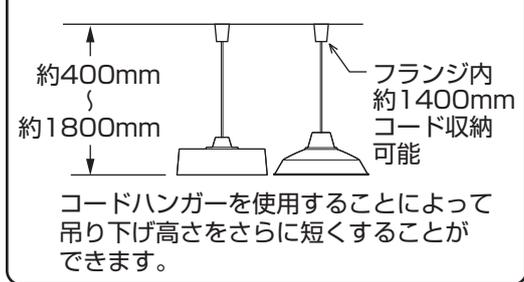


コードハンガー

- 以下の場合に使用します。
 - ・吊り下げ高さを短くする場合
 - ・取り付け位置を配線器具の位置からずらす場合
 - ・傾斜天井(55度以下)に取り付ける場合

☞取り付け方法は、5ページ「コードハンガーの取り付けかた」参照

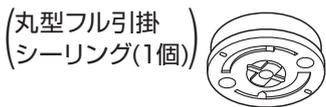
コード調節可能範囲



・ブラック仕様のセードは丁寧に取り扱ってください。特殊塗装を施しています。傷が付かないよう注意して取り扱ってください。

照明器具取り付け用付属部品

配線器具



引掛シーリング用木ネジ



コードハンガー

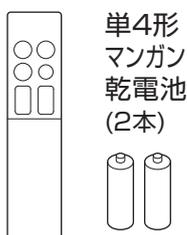


リモコン付属部品

リモコン

(1個)
補修品番
HK9809MM

☞操作方法は、7ページ参照



- リモコンのフタを開けて、単4形マンガン乾電池を2本入れる。



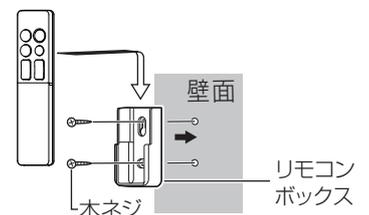
フタは、2度引く
チャンネルボタンの下でいったん止まりますので、もう1度引いてください。

リモコンボックス

(1個)

リモコンボックス用木ネジ (2本)

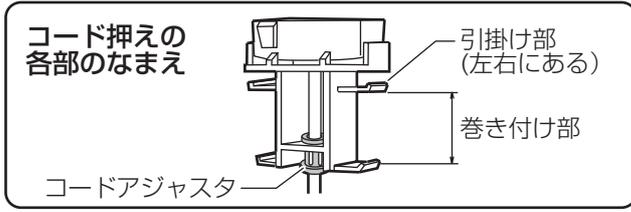
- リモコンボックスを使用して、紛失防止用に壁掛け収納できます。



1 コードの長さを調節する

器具の高さを調節する場合は、下記内容に従って、コードの長さを調節してください。
(高さ調節が不要な場合は **2** の作業へ進んでください。)

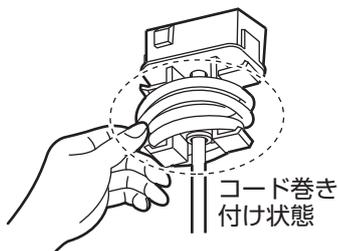
- ・余ったコードをコード押えに巻き付けてください。
- ・コード長さの調節範囲は約1400mmです。



①コードアジャスタを押し上げ、余ったコードを引き出す



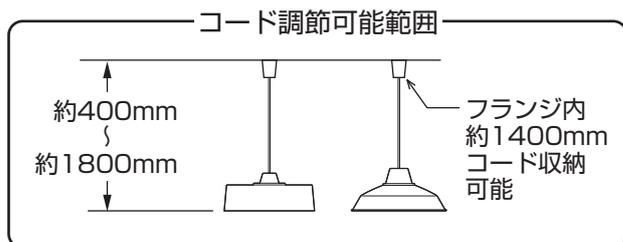
②余ったコードを巻き付け部に巻き付ける



③コードの最終部をコード引掛け部に引掛ける



④コードアジャスタを引き下げる

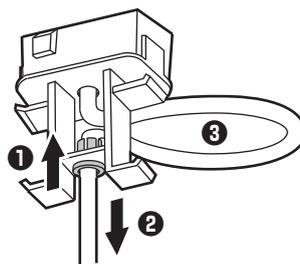


確認

- ・灯具側のコードを引き下げる側に引っ張り、コードがずりさがらないことを確認する。
- ・巻き付けたコードがフランジ内に収まることを確認する。

コードを長くする場合

- ①コードアジャスタを押し上げながら
- ②コードを引き出す
・コードアジャスタの押し上げが不十分な場合、コードを引き出すことができません。
- ③余ったコードは上記の手順②～③を参照しコード押えに巻き付ける



2 補強のある天井面にコードハンガーを取り付ける

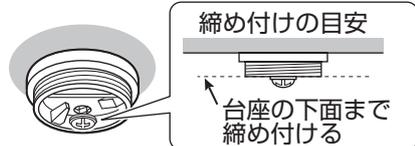
吊り下げ高さをさらに短くする場合、
取り付け位置を配線器具の位置からずらす場合、
傾斜天井(55度以下)に取り付ける場合



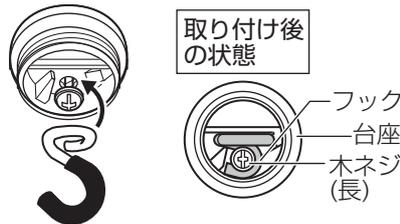
コードハンガーの取り付けが必要です。
下記内容に従って、取り付けてください。
(コードハンガーの取り付けが不要な場合は
3の作業へ進んでください。)

コードハンガーの取り付けかた

- ① 付属の木ネジ(長)を台座を通して
途中まで締め付ける



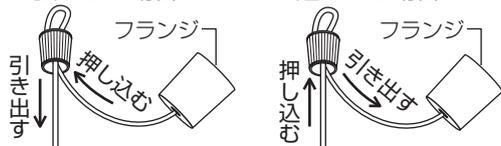
- ② フックをはさんで木ネジ(長)を
最後まで確実に締め付ける



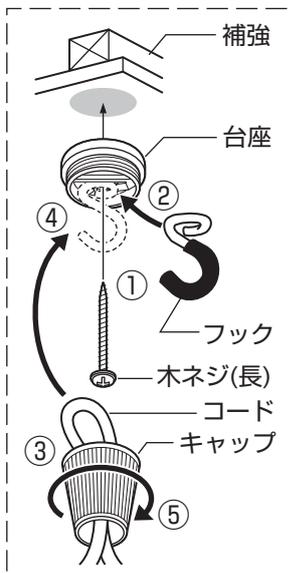
- ③ キャップにコードを通して
コードの長さを調整する

<長くする場合>

<短くする場合>



- ④ フックにコードを引っ掛ける
⑤ キャップを最後まで確実にねじ込む



警告



コードハンガーは
確実に取り付ける
落下してけがの
おそれがあります。

傾斜天井に取り付ける場合

開口部上向き

・55度の傾斜まで可能です。
・必ずコードハンガーを
使用してください。



フックの開口部が上を向く
ように取り付けてください。

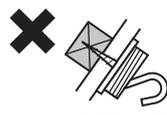


警告

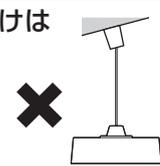


次のような取り付けは
しない

禁止



フック開口部が
下向き



配線器具から
直接器具を
吊り下げる

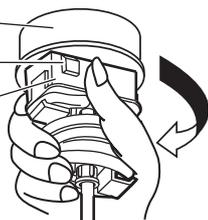
器具落下によるけがのおそれがあります。

コンクリート天井の場合

付属の木ネジは使えません。鉄筋コンクリート
天井用コードハンガーを使用してください。
【別売 LK01070K(ブラック)、LK01071K(ホワイト)】
取り付けは販売店、工事店に依頼してください。

3 配線器具に引掛シーリングキャップを接続する

配線器具
ボタン
引掛
シーリング
キャップ



右に回して
確実に
取り付ける

確認

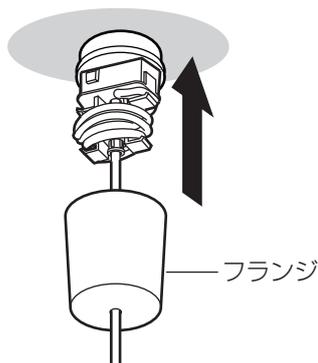
・取り付け後、
ボタンを押さずに
左に回して、
外れないことを
確認する。

取り外しかた

- ① ボタンを
押しながら
② 左に回す



4 フランジを天井面に押し上げる

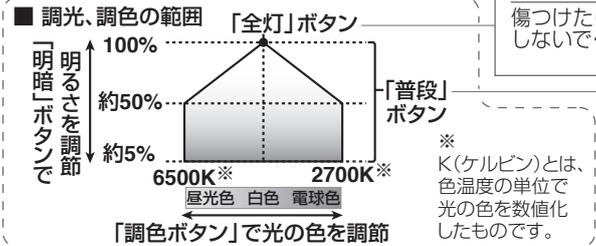


リモコンであかりを切り替える

壁スイッチはONの状態にしてください。リモコンの「全灯」「普段」であかりの切り替え、「明暗」「調色」で明るさ、光の色の調節ができます。

全灯ボタン

LEDが白色、明るさ100%で点灯します。



普段ボタン (初期設定: 白色、明るさ約70%)

LEDが前回「明暗ボタン」、「調色ボタン」で調節(記憶)した明るさ、光の色で点灯します。

LEDの明るさ、光の色を調光、調色して記憶させる方法

- 1 「全灯」、「普段」のいずれかのボタンでLEDを点灯
 - 2 「明暗ボタン」、「調色ボタン」で明るさ、光の色を調節 → 記憶
- ※次回から「普段ボタン」で、調節した明るさ、光の色で点灯します。ただし、「明暗ボタン」「調色ボタン」で明るさ、光の色を変えると、その都度記憶が更新されます。

調色ボタン

LEDの光の色を白い色から暖かい色に連続で変更できます。

おやすみタイマーボタン

ボタンを押してから30分後に自動消灯を行います。

ON(30分後消灯)「ピツ」と音がする → OFF「ピー」と音がする

↑ 押すごとに切り替わります。

※いずれの点灯状態、リモコンによる消灯状態でもタイマーはセットされますが、壁スイッチのOFF時はセットされません。

消灯ボタン

送信部

傷つけたり、汚したりしないでください。



送信のしかた

必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。



リモコン操作時の音を消すことができます

壁スイッチをONにして30秒以内に



リモコンのフタをスライドさせてリモコンの「送信部」を器具に向ける



リモコンの「普段ボタン」と「チャンネル確定ボタン」を同時に押す

※リモコン操作時の音を鳴らす場合は、上記の操作をもう一度行ってください。

常夜灯ボタン(蓄光)

(明るさ6段階) (初期設定: 明るさ100%)

常夜灯点灯時に「明暗ボタン」で明るさ調節すると、次回からその明るさで点灯します。ただし、「明暗ボタン」で明るさを変更すると、その都度記憶が更新されます。常夜灯は調色できません。◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

明暗ボタン

LED(100%~約5%)の範囲、常夜灯(明るさ6段階)で明るさを変更できます。

チャンネル確定ボタン・チャンネルスイッチ

同じ部屋で複数の器具を個別に操作したい場合に使用します。下記「リモコンで複数の器具を操作する」参照

フタ

「おやすみタイマー」、「チャンネル確定」、「チャンネルスイッチ」使用時にフタをスライドさせます。

器具のチャンネル設定を変更する

- 1 壁スイッチ ON
- 2 フタをスライドさせる
- 3 リモコンの「送信部」を器具に向けて
- 4 リモコンの「チャンネル確定ボタン」を押す → 「ピー」と音がして設定完了

※本製品以外の照明を操作する場合は、チャンネル設定方法が異なります。ご使用の照明器具の取扱説明書をご覧ください。
※1:周囲のリモコン照明器具が壁スイッチONの場合、その器具もチャンネルが変更されることがあります。リモコン操作できない場合はチャンネル設定が正しくありません。再設定してください。

リモコンで複数の器具を操作する

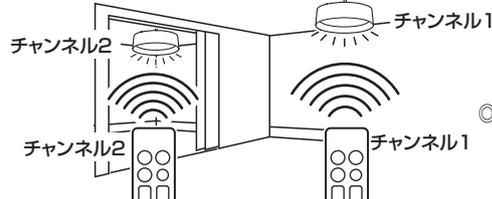
同時または個別に操作できます。

同時に操作する (例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



◎器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。

個別に操作する (例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



◎1個のリモコンで行う場合は、リモコンチャンネルスイッチを都度切り替える必要があります。

壁スイッチであかりを切り替える

点灯・消灯する



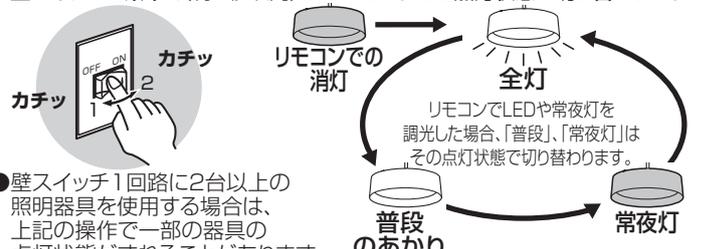
前回の「明るさと光の色」で点灯します

現在(消す直前)の「明るさと光の色」を記憶して消灯します

●消灯状態で壁スイッチをOFFにすると、次にONしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約1秒以内)OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。



●壁スイッチ1回路に2台以上の照明器具を使用する場合は、上記の操作で一部の器具の点灯状態がずれることがあります。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
点灯しない	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして 壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、 壁スイッチを素早く OFF→ONにする	6ページ ☞「壁スイッチであかりを 切り替える」
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより 壁スイッチ機能がはたらき、 点灯状態が切り替わった可能性がある	壁スイッチをOFFにする リモコンもしくは壁スイッチ操作で 点灯モードを切り替える	— 6ページ ☞「リモコンであかりを切り替える」 ☞「壁スイッチであかりを切り替える」
勝手に消灯する	「おやすみタイマー」がONになっていた	「おやすみタイマー」をOFFにする (「おやすみタイマー」で消灯すると 「おやすみタイマー」はOFFされます)	6ページ ☞「リモコンであかりを切り替える」
リモコンで操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	☞ 3ページ
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	☞ 「リモコン付属部品」
リモコンで操作できない 環境要因	リモコンと照明器具のチャンネルが 合っていない	リモコンのチャンネルを変更して 操作する	☞ 6ページ ☞ 「器具のチャンネル設定を変更する」
	他の機器(例えば、スマートフォン、タブレット、 3Dテレビなど)から出る赤外線の影響により、 リモコンが反応しにくくなっている	他の機器を照明器具から離す、 照明器具に対する向きを変える、 または電源を切る	—
	リモコンの「送信部」を器具に向けて操作していない	リモコンを手に取り、「送信部」を器具に に向けて操作する	☞ 6ページ「リモコンであかりを 切り替える」の「送信のしかた」
リモコン操作時に ちらつく	リモコン操作位置が器具から遠い	器具の近くで操作する	—
リモコン操作時に ちらつく	調光、調色動作をしている	調光、調色(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが異常ではありません。 調光、調色動作が終わるとちらつきも止まります。	—
複数台の使用で 点灯状態がずれる	壁スイッチ切替機能にばらつきがあり、 非常に短い停電やすばやいスイッチ操作により 一部の器具の点灯状態が切り替わった	リモコンを操作し 点灯状態を合せてください。	—
点灯状態が勝手に切り替わる	電子ブロックが異常動作状態になっている	照明器具を初期化する	☞ 下記「照明器具を初期化する」
「ビビビビビビ」と 音がした後に、「消灯」する	電子ブロックが故障している	電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口にご相談ください	—

上記の処置 を行っても 現象が続く 場合	本体	<p>壁スイッチをOFFにし、20秒以上経ってから再度ONにして ☞ 下記「照明器具を初期化する」を行う</p> <p>照明器具を初期化する 壁スイッチをONにして30秒以内に下記の操作を行ってください。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;"> <p>1</p>  <p>リモコンのフタを スライドさせて 「リモコン送信部」 を器具に向ける</p> </div> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;"> <p>2</p>  <p>リモコンの「消灯ボタン」 「チャンネル確定ボタン」を 同時に押す→「ビビ」と音がして、 常夜灯が点灯したら初期化完了</p> </div> </div> <p>☞ 確認 初期設定(工場出荷状態)に戻りますので、器具のチャンネルや点灯状態を再設定してください。 ☞ 6ページ「リモコンであかりを切り替える」「器具のチャンネル設定を変更する」「リモコンで複数の器具を操作する」参照</p>
	リモコン	リモコンの電池を抜き、30分以上経ってから電池を入れる ☞ 3ページ「リモコン付属部品」参照

●上記の点検でお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

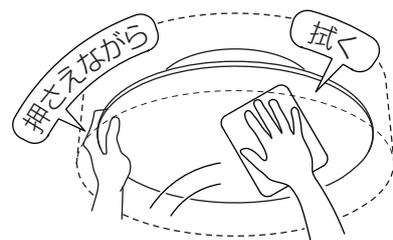
- 明るく安全に使用していただくため、照明器具、リモコンの送信部()を定期的(6カ月に1回程度)に清掃、点検してください。
- ・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

注意

- ・拭き掃除をする時、本体が回転しないよう押さえながら行ってください。
- ・乳白カバーに無理な力を加えないでください。破損したり、本体と乳白カバーの間に隙間ができ、虫・ホコリの侵入を防ぐ効果が損なわれるおそれがあります。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。



仕様

保証書または本体のラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

品番	使用電圧	周波数	消費電力		入力電流	畳数
<input type="checkbox"/> LGBZ6180	AC100V	50/60Hz 共用	30.9W	リモコンOFF時 (待機時状態) 1W以下 常夜灯のみ 約1W	0.32A	~8畳
<input type="checkbox"/> LGBZ6181						
<input type="checkbox"/> LGBZ6182						
<input type="checkbox"/> LGBZ6185						
<input type="checkbox"/> LGBZ6186						

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

- 保証期間中は、保証の規定に従って出張修理いたします。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

- 製品名 住宅用照明器具
- 品番 上記「仕様」をご参照ください。
- 故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、LED電源・LEDユニットについては5年間です。

*保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 **6年**

*当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社 ライティング事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048 © Panasonic Corporation 2022-2024

LGBZ6180-T3A1

N0422-010224